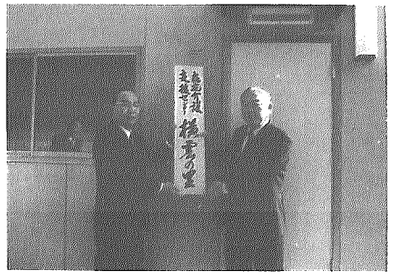
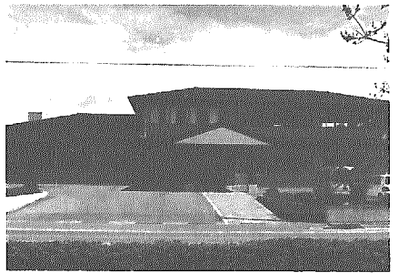
在宅介護支援センター横雲の里　オープン
町内2か所体制できめ細かく対応

3月31日、「在宅介護支援センター横雲の里」が、「特別養護老人ホーム横雲の里」（横越町沢海焼山）内に開設されました。（写真は3月31日の在宅介護支援センター横雲の里の開所式。左は中蒲原福祉会の佐野理事長、右は浅見町長）

福祉・介護保険サービスなどの相談・利用手続きなどについて、横雲通り（国道49号）をはさんで町の南側の地域を横雲の里で、北側の地域を既存の支援センター（保健センター内）で担当することになりました。

▼問い合わせ
横越町在宅介護支援センター
☎385―5045
在宅介護支援センター
横雲の里
☎0250―61―5555


在宅介護支援センター横雲の里

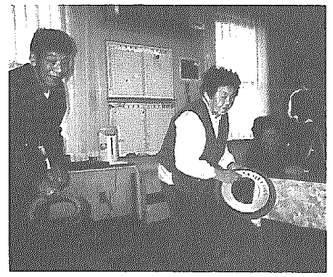

横越町在宅介護支援センター（保健センター）

横越町デイサービスセンターではボランティアを募集しています

◆運転ボランティア
・月曜日～金曜日
・あなたの都合のよい日
・迎えの時間…午前8時30分～9時30分くらいの間
・送りの時間…午後3時～4時くらいの間

◆お相手ボランティア
デイサービス利用者にお茶を出したり、簡単な身の廻りの相手をしていただきます。

いずれも性別は問いません。ボランティアをしていただける方は、町社会福祉協議会にご連絡ください。☎385―4321


輪投げゲームを楽しむ利用者

横越町シルバー人材センター会員募集

シルバー人材センターでは、町内の会社や家庭から依頼された仕事に、積極的に取り組み、働いています。

草取り、庭木のせん定、冬囲い、障子・ふすまの張り替え、高齢者の話し相手、賞状、筆耕など、御用がありましたらセンターまでご一報ください。

▼会員募集　町内在住の60歳以上の方で、働く意欲のある健康な方を募集しています。
会員には、仕事に応じて賃金を支払います。

▼年会費　千円（入会時に納入）

▼講習会　シルバー人材センターでは、会員の技能向上と親睦を深めるため、庭木のせん定や冬囲い、障子・ふすまの張り替えの講習会を開催しています。講習会費は無料で、会員以外の方も参加できます。

▼申込・問い合わせ
横越町シルバー人材センター
（サンウィング横越内）
☎385―5211

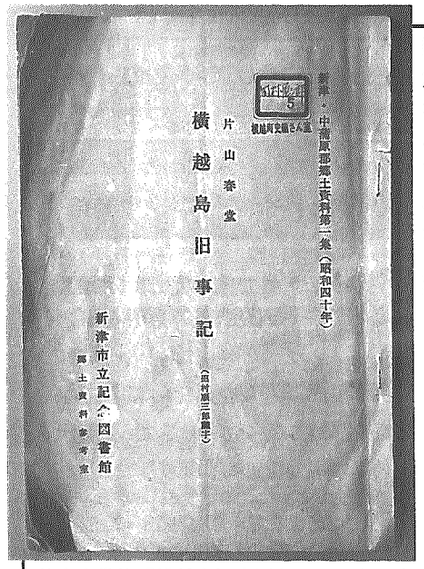
耳よりな情報
～広域情報ネットワーク～

＜新潟市＞
国際線就航3周年・新潟空港ビルディング改築5周年記念事業
▶期　日　5月15日(火)
▶会　場　新潟空港ターミナルビル内
▶内　容　・講演会　午後2時～2時45分
「新潟空港の魅力と将来性」
・記念セレモニー　午後3時～5時
式典、中国芸能団、中国名産品抽選会等
・パネル展示（新潟空港の変遷、観光等）
・国際線親子モニターツアー（7月～8月）
▶問い合わせ　新潟空港整備推進協議会　☎223-1401

＜小須戸町＞
さつきまつり
▶日　時　5月19日(土)～5月27日(日)
午前8時30分～午後5時30分
▶会　場　小須戸町花とみどりのシンボルゾーン
▶内　容　即売が主ですが、会員展、アマチュア作品展、花きなんでも相談コーナーなどがあります。
さつきの種類は、2,000種以上と言われていますが、即売会では約100種1万株が並びます。産地直売のため、より良いものがより安く買えるので、毎年大勢の人たちが訪れます。
▶問い合わせ　小須戸町役場産業課　☎0250-38-3111

ふる里物語　町史編さんだより㉔
現代語約「横越島旧事記」(1)

「横越島旧事記」は成立年代や編者が不詳なうえ、原本も伝わらず、記載されている事実に関しても正確さを欠くといわれきた江戸時代後半の筆写史料ですが、その内容は慶長三年（一五九八）の溝口氏の新発田入部から明和六年（一七六九）までの間の庄屋の任免、寺社の動向、普請、水利、災害、犯罪、小作騒動など、新発田藩領であった横越本村を中心とした出来事が年表風に書き留められた貴重な史料です。この写本は断片的に数点伝わっていますが、奥書に「万延元年（一八六〇）庚申五月横越村片山春堂記」と記されたものがあり、幕末には大字横越の片山家に伝わる写本からさらに複製が流布していったものと考えられます。



片山春堂筆「横越島旧事記」は、昭和40年（1965）に新津市記念図書館から活字で出版されているが、原本は行方不明である（翻字／田村順三郎）。

――横越島旧事記――

日本国内の宗旨別寺院数

天台宗	一八二〇
真言宗	一万一〇〇八
禅宗	一万〇七〇〇
法相宗	一三〇五
律宗	九一〇〇
浄土宗	一四万〇〇二〇
法華宗	八万三〇二〇
遊行宗	六万〇〇七六
大念仏宗	一五一〇
東本願寺宗	八万〇一二〇
西本願寺宗	四万五〇一八
高田門徒宗	七五二〇
仏光宗	八五二〇
浄実宗	二一七二
華厳宗	一三一八
倶舎宗	二〇九八
寺院数合計	四六万五三二五
宗旨数	一三

右の記載は、貞享二年（一六八五）に江戸幕府よりそれぞれの本寺へ命令があり、末寺の数を調査した結果で、江戸の寺社奉行所から廻ってきた報告書である。

一、溝口伯耆守様（溝口秀勝＝新発田藩初代藩主）が加賀国江沼郡大聖寺より越後新発田へ六万石でお移りになったのは、慶長三年（一五九八）のことであった。

一、検地が実施されたのは、慶長六年（一六〇一）であった。

一、溝口伊豆守様（溝口善勝＝沢海藩初代藩主）が新発田藩から分家し、一万石の知行高で沢海町へお移りになられたのは、慶長十二年（一六〇七）であった。

（注）沢海藩初代藩主への知行分割については慶長十五年、実質的な沢海移住は寛永十六年（一六三九）以降と考えられています。

――つづく――

俳句
句題　春スキー　梅　流氷（公募作品）

流氷のつきあたりつつ沖え出る　伊藤　吉作
梅白ろし村一番の味噌煮かな　今井　天花
流氷に見えかくれして漁の船　中川　照月
膨らみし実取りの梅も活けにけり　村木緋佐子
雨毎に蕾ふくらむ庭の梅　藤崎　春月
梅のころ銘菓一輪へぎの上　細山芳洲子
三友の梅を引立て茶をたて点る　今井　峰雪
一樹有り庭引き立てる梅古木　高橋　鶏子
狛犬に触れて咲く梅写さるる　神田　斗子
流氷群ロシア艦隊かも知れず　谷井野武士
梅散りて名刺の肩書墨を引く　佐藤　豊吉
流氷の軋ませながら岸離る　市村横雲子
春スキー陽は燦々と頭上より　草野青踏子
春スキー一団下りし山の駅　坪谷十九一
国境線越えて流氷押し寄せ来　坪谷いわお
老幹の苔も見事に梅咲きぬ　坪谷　耕雨
春スキー人も疎らに夕陽抱く　石井　楽秋
流氷や地球の神秘目のあたり　藤崎　道子
流氷に乗りてアザラシ一服時　井越　裕穂
梅林に月が昇れば月の冷　今井　夫子

3月資源ゴミ収集実績

空きびん	7.5 t
空き缶	4.8 t
古紙	35.6 t
ペットボトル（拠点回収分）	0.2 t
合計	48.1 t

インターネット博覧会（インパク）開催中 http://www.inpaku.go.jp〈総務省〉